

(別記様式)

議 会 報 告 会 実 施 報 告 書

実 施 日	①R6年 5 月 19 日（日）	開催時間	①14 時 00 分～15 時 20 分	
	②R6年 5 月 20 日（月）		①19 時 00 分～20 時 20 分 ②19 時 00 分～20 時 20 分	
実 施 場 所	伊豆市役所 別館 2 階 大会議室			
出 席 議 員	鈴木 優二 (委員長)	永岡 康司 (副委員長)	小川 多美子	星谷 和馬
	小長谷 順二	杉山 誠	青木 靖	浅田 藤二
	飯田 大	黒須 淳美	下山 祥二	杉山 武司
	鈴木 正人	間野 みどり	波多野 靖明	三田 忠男
報 告 内 容	第 1 部 議員定数見直しの検討状況の報告			
	第 2 部 令和 6 年度一般会計予算における主要 2 事業（防災対策・子育て支援）の審議状況の報告			
質 問 内 容	・伊豆市の子育て・少子化対策 ・伊豆市の防災対策（能登半島地震をふまえて心配なことは？）			
参加者意見	「伊豆市の子育て・少子化対策」 ・保育園…保護者 土、日、祭日の負担が大変 ・保育士…サービス業、看護師等 ・幼稚園での預かり ・南小 3 年生は対象外になってしまう ・長期の休み（夏季休暇等）に保護者が働けない ・書くよりも両方で、タブレットで補うことができるの？ 多様性 ・現状は？→待機児童はない ・放課後児童クラブの課題 3、4 年生（自分で過ごせる）→支援センターへ ・保育士不足 ・『子育て全力宣言』もいいが、一番お金がかかる高校生・大学生（通学定期代など）どこまで対象とするか ・交通費など考えると、天城から修善寺へ引っ越したい（地域の格差も？）			

【通い 登下校、送り迎え】

- ・優遇されている
- ・新伊豆中学校 バス通学、部活の時の移動
- ・路線バスの減少⇔維持
- ・保護者からスクールバスの要望あり→送迎の負担（部活終了時間がバラバラ）
- ・子育て施策のタイミング！
- ・伊豆市に戻ってきてくれるには子供たちが少子化対策…（返さなくていい）奨学金制度

【学び タブレット、ICT、人数など】

- ・手当の上乗せがあれば…
- ・今の自分の生活が大切になっている
- ・Uターンを促す
- ・育った場所に戻らない
- ・移住に力を入れる
- ・働く場所がない
- ・住宅提供までは市ではできない？
- ・企業誘致
- ・仮の住まいを準備する拠点をつくる（家を建てる、市営住宅の活用も）
- ・市営住宅の利用（住み難い 若者向けに新築を）
- ・伊豆中学校は教科教室か？→今まで通り
- ・少子化というが、伊豆市に働き場所はある？ 産めない環境
- ・教育と医療はセットで 小児科の現状は？
- ・市、自ら住宅の分譲を
- ・伊豆市の子育て支援は充実している

「伊豆市の防災対策（能登半島地震をふまえて心配なことは？）」

【自然災害など】

- ・野尻川の護岸（未実施）
- ・各地区の要望の予算化の状況
新規事業と継続事業→優先順位 長期ビジョンを！
- ・伊豆市の行政区が多すぎる もっと減らしては
- ・大雨、日常化している（台風等）
- ・地震に対してシェルターの設置に補助金を支援してほしい
家屋、ベッドは補助金制度がある
情報メール、同報無線、FMIS、ラジオ、テレビ等活用を

	【避難所】 ・新中学校開校に伴い、修善寺南小学区の避難所→修中が使えなくなる→災害の種類によって活用 ・災害が起こる前の対策 ・避難計画はしっかりしているか 市長から説明、計画、資料、情報提供を ・訓練…地区により温度差あり 日中、夜間の避難経路をあらためて確認 ・新中学校を早く避難場所として設置してほしい 【備蓄について】 ・防災備品購入費の活用状況が地区によってバランスが取れているか ・しっかり確保されているのか（水、食料、トイレ…何日分あるのか）市、地域、地区と様々把握しているか ・仮設住宅は何か月くらいかかるか、何戸くらい設置できるのか立地は確保されているか（何カ所あるか） 【その他】 ・県の防災士資格だけでなく、国の資格も増えた 人材育成を！ ・防災訓練が機能していない（系統化されていない） ・防災指導員の任期３年だが、委嘱は１年 ・区長に押し付けすぎ ・情報伝達方法の周知 区役員等を対象とした防災講習会の開催→意識向上のため ・能登地震の教訓から水道管工事復旧には３～４か月を要する耐震化、老朽化問題 トイレ、生活用水…水は大変、必要かつ重要である 水質、水量、井戸 ・夜間、日、祭日の医師不足
備 考 欄	